

衛 研 第 3 - 8 号
平成 2 8 年 5 月 2 5 日

感染症発生動向調査事業
各 関 係 機 関 の 長 様

埼玉県衛生研究所長

感染症発生動向調査事業週単位情報の送付について（通知）

このことについて、別添のとおり送付いたします。

担 当 埼玉県衛生研究所 感染症疫学情報担当
電 話 0 4 9 3 - 5 9 - 9 3 2 5
F A X 0 4 9 3 - 5 9 - 9 6 1 3
e-mail p5349952@pref.saitama.lg.jp

感染症患者発生情報（週報）

埼玉県内情報 平成 28 年 第 20 週（平成 28 年 5 月 16 日～平成 28 年 5 月 22 日）

今週の注目される疾患

全数把握対象疾患では、一類から三類感染症（二類：結核を除く）の届出はなかった。四類感染症は、レジオネラ症 3 人の届出があった。五類感染症は、アメーバ赤痢 1 人、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 1 人、後天性免疫不全症候群 1 人、侵襲性肺炎球菌感染症 4 人、梅毒 1 人の届出があった。

定点報告対象疾患では、**A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎**(3.09 3.46：図 1)の定点当たり報告数は、前週と比べ増加し、今後の動向には注意が必要である。保健所別では、全保健所管内から報告があり、鴻巣(3.17 6.17)、熊谷(3.78 5.78)保健所管内で大きく増加し、川越市(5.50)保健所管内で多い。年齢階級別では、4～7 歳で全体の 53.8%を占めた。**流行性耳下腺炎**(1.30 1.37：図 2)の定点当たり報告数は、前週と比較しわずかに増加し、多い状況にある。保健所別では、13 保健所管内から報告があり、春日部(0.80 3.80)、東松山(0.80 2.60)保健所管内で大きく増加し、幸手(3.33)保健所管内からの報告が多い。**咽頭結膜熱**(0.61 0.50：図 3)の定点当たり報告数は、前週より微減した。保健所別では、幸手(1.56)、春日部(1.40)保健所管内からの報告が多い。年齢階級別では、1 歳の報告が最も多い。眼科定点報告対象疾患では、**急性出血性結膜炎** 3 人、**流行性角結膜炎** 25 人の報告があった。基幹定点報告対象疾患では、**マイコプラズマ肺炎** 2 人、**感染性胃腸炎(ロタウイルス)** 4 人、**インフルエンザ(入院)** 1 人の報告があった。

<全数把握対象疾患の患者情報>

一類感染症	報告なし	
二類感染症	報告なし（結核を除く）	
三類感染症	報告なし	
四類感染症	レジオネラ症	3 人（病型 肺炎型 3 人）
五類感染症	アメーバ赤痢	1 人（病型 腸管アメーバ症 1 人）
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1 人（菌種 <i>Enterobacter</i> sp.）
	後天性免疫不全症候群	1 人（病型 AIDS）
	侵襲性肺炎球菌感染症	4 人
	梅毒	1 人（病型 早期顕症 期）

1 この情報に関する御質問・御意見等がございましたら、下記まで御連絡ください。
衛生研究所 感染症情報担当者会議(感染症疫学情報担当) TEL: 0493-59-9325 FAX: 0493-59-9613
e-mail: p5349952@pref.saitama.lg.jp URL: <http://www.pref.saitama.lg.jp/b0714/surveillance/index.html>

2 全国の感染症発生動向に関する情報は、国立感染症研究所の感染症疫学センターホームページ(URL: <http://www.nih.go.jp/niid/ja/from-idsc.html>)で御覧になれます。

感染症発生状況(全数把握対象疾患)
(第20週)

(2016年5月24日 15:00集計)

	今週 届出	累 計		今週 届出	累 計
一類感染症					
エボラ出血熱			ペスト		
クリミア・コンゴ出血熱			マールブルグ病		
痘そう			ラッサ熱		
南米出血熱					
二類感染症					
急性灰白髄炎			中東呼吸器症候群(MERS)		
結核*	-	-	鳥インフルエンザ(H5N1)		
ジフテリア			鳥インフルエンザ(H7N9)		
重症急性呼吸器症候群(SARS)					
三類感染症					
コレラ			腸チフス		1
細菌性赤痢		2	パラチフス		
腸管出血性大腸菌感染症		9			
四類感染症					
E型肝炎		9	東部ウマ脳炎		
ウエストナイル熱			鳥インフルエンザ(H5N1を除く)		
A型肝炎		2	ニパウイルス感染症		
エキノコックス症			日本紅斑熱		
黄熱			日本脳炎		
オウム病			ハンタウイルス肺症候群		
オムスク出血熱			Bウイルス病		
回帰熱			鼻疽		
キャサナル森林病			ブルセラ症		
Q熱			ベネズエラウマ脳炎		
狂犬病			ヘンドラウイルス感染症		
コクシジオイデス症			発しんチフス		
サル痘			ポツリヌス症		
ジカウイルス感染症			マラリア		
重症熱性血小板減少症候群			野兔病		
腎症候性出血熱			ライム病		
西部ウマ脳炎			リッサウイルス感染症		
ダニ媒介脳炎			リフトバレー熱		
炭疽			類鼻疽		
チクングニア熱			レジオネラ症	3	22
つつが虫病			レプトスピラ症		
デング熱		6	ロッキー山紅斑熱		
五類感染症					
アメーバ赤痢	1	24	侵襲性肺炎球菌感染症	4	49
ウイルス性肝炎(E型・A型を除く)		4	水痘*		3
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1	13	先天性風しん症候群		
急性脳炎		22	梅毒	1	44
クリプトスポリジウム症			播種性クリプトコックス症		3
クロイツフェルト・ヤコブ病		4	破傷風		1
劇症型溶血性レンサ球菌感染症		8	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症		
後天性免疫不全症候群	1	15	バンコマイシン耐性腸球菌感染症		3
ジアルジア症			風しん		
侵襲性インフルエンザ菌感染症		3	麻しん		1
侵襲性髄膜炎菌感染症			薬剤耐性アシネトバクター感染症		2
指定感染症	該当疾患は無し				

水痘*：患者が入院を要すると認められるものに限る。

ウイルス性肝炎(A型・E型を除く)再掲	B型	C型	D型	その他
累計	3	1		

累計は診断日で集計

* 結核は月単位で集計、別に掲載します。

保健所	報告患者数										保健所別										平成28年5月16日～平成28年5月22日									
	インフルエンザ #1	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	咽頭炎	咽A群溶血性レンサ球菌	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎 #2	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 #3	感染性胃腸炎(口炎)	インフルエンザ(入院)												
全	27	6	79	550	1023	96	8	22	118	2	11	218	3	25	-	2	-	4	1											
川	0.11	0.04	0.50	3.46	6.43	0.60	0.05	0.14	0.74	0.01	0.07	1.37	0.08	0.63	-	0.20	-	0.40	0.10											
朝	0.48	0.06	0.56	3.19	9.00	0.25	-	0.31	0.88	-	0.06	1.06	-	-	-	-	-	-	-											
鴻	3	1	2	44	117	15	3	1	14	1	1	12	-	3	-	-	-	1	-											
東	0.14	0.07	0.14	3.14	8.36	1.07	0.21	0.07	1.00	0.07	0.07	0.86	-	1.00	-	-	-	1.00	-											
山	3	1	9	74	58	3	-	2	9	-	5	1	4	-	-	-	-	-	-											
秩	0.16	0.08	0.75	6.17	4.83	0.25	-	0.17	0.75	-	0.42	0.33	1.33	-	-	-	-	-	-											
本	-	-	-	11	32	3	-	3	3	-	13	-	-	-	-	-	-	-	-											
熊	1	-	1	7	2	-	-	0.60	0.60	-	2.60	-	-	-	-	-	-	-	-											
加	0.20	-	0.33	2.33	0.67	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-											
春	-	-	-	7	2	5	1	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-											
須	-	-	-	1.75	0.50	1.25	0.25	-	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-											
日	-	-	3	52	94	3	1	-	4	-	7	-	1	-	-	-	-	-	-											
部	-	-	0.33	5.78	10.44	0.33	0.11	-	0.44	-	0.78	-	0.50	-	-	-	-	-	-											
手	1	-	1	6	1	8	-	7	7	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-											
幸	0.10	-	0.17	1.00	0.17	1.33	-	1.17	1.00	-	0.17	-	1.00	-	-	-	-	-	-											
坂	-	-	7	14	10	6	-	3	19	-	3	19	1	-	-	-	-	-	-											
草	-	-	1.40	2.80	2.00	1.20	-	0.60	0.60	-	0.60	3.80	1.00	-	-	-	-	-	-											
狭	1	-	14	16	27	5	1	-	4	-	30	-	-	-	-	-	-	-	1											
川	0.07	-	1.56	1.78	3.00	0.56	0.11	-	0.44	-	3.33	-	-	-	-	-	-	-	1.00											
越	-	-	3	15	71	5	-	4	1	-	13	-	-	-	-	-	-	-	-											
谷	-	-	0.50	2.50	11.83	0.83	-	0.67	0.17	-	2.17	-	-	-	-	-	-	-	-											
さい	1	-	7	29	57	2	-	1	8	-	16	1	1	-	-	-	-	-	-											
たま	0.06	-	0.64	2.64	5.18	0.18	-	0.09	0.73	-	0.09	1.45	0.33	0.33	-	-	-	-	-											
ま	-	1	13	69	95	8	1	4	10	1	1	31	-	4	-	-	-	-	1											
市	-	0.06	0.81	4.31	5.94	0.50	0.06	0.25	0.63	0.06	0.06	1.94	-	0.80	-	-	-	-	1.00											
市	-	-	-	44	60	2	-	1	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-											
市	-	-	-	5.50	7.50	0.25	-	0.13	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-											
市	-	-	4	22	21	5	-	12	11	-	3	11	-	-	-	-	-	-	2											
市	-	-	0.50	2.75	2.63	0.63	-	1.50	1.38	-	0.38	1.38	-	-	-	-	-	-	2.00											
市	5	2	6	89	232	22	1	1	21	-	1	43	1	10	-	-	-	-	2											
(- : 0.00)	0.12	0.07	0.22	3.30	8.59	0.81	0.04	0.04	0.78	-	0.04	1.59	0.13	1.25	-	-	-	-	2.00											

#1 鳥インフルエンザを除く
#2 真菌性を含む
#3 オウム病を除く

5月 24日 13:00集計

感染症発生動向調査 週情報 報告患者数 年齢別 (第20週 平成28年5月16日 ~ 平成28年5月22日)

	年齢別																				
	合計	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70~				
インフルエンザ #1	27	-	-	-	1	2	1	1	1	1	1	1	1	3	2	1	4	1	1	1	-
RSウイルス感染症	6	1	1	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	79	-	11	22	8	10	5	7	2	3	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	550	-	5	8	24	48	77	67	81	71	53	38	53	5	20	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎	1,023	13	60	143	93	109	115	89	57	47	50	47	100	15	85	-	-	-	-	-	-
水痘	96	1	2	7	6	11	7	6	17	15	10	4	9	-	1	-	-	-	-	-	-
手足口病	8	-	-	3	1	1	-	1	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	22	-	-	1	-	2	3	5	3	4	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん	118	2	43	61	12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	11	-	2	3	2	1	-	1	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	218	-	-	8	9	22	35	29	21	26	18	19	24	2	5	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	3	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1
流行性角結膜炎	25	-	-	1	-	-	2	2	-	-	-	1	2	2	5	4	2	1	1	1	2
細菌性髄膜炎 #2	合計	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70~				
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	2	-	-	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 #3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	4	-	3	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(入院)インフルエンザ	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

表中の数値は各定点からの報告数 (- : 0)

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

全国・関東情報 第 17 週

(4月25日～5月1日)

平成28年5月25日

インフルエンザの定点当たり報告数は第7週以降減少が続いている。都道府県別の上位3位は秋田県(11.02)、岩手県(9.03)、新潟県(7.83)である。基幹定点からのインフルエンザ入院サーベイランスにおける報告数は118例と前週と比較して減少した。都道府県別では37都道府県から報告があり、年齢別では0歳(6例)、1～9歳(42例)、10代(13例)、20代(3例)、30代(3例)、40代(5例)、50代(6例)、60代(7例)、70代(13例)、80歳以上(20例)であった。

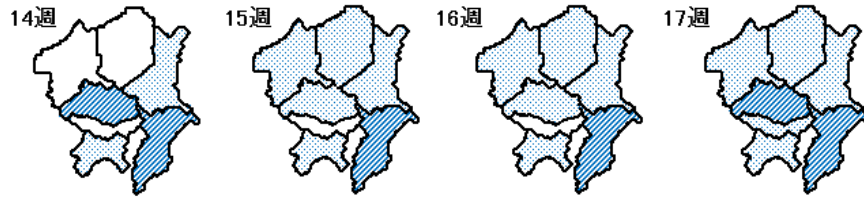
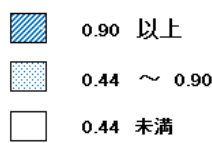
RSウイルス感染症の報告数は487例と2週連続で減少した。年齢別では1歳以下の報告数が全体の約81%を占めている。咽頭結膜熱の定点当たり報告数は第13週以降増加が続いている。都道府県別の上位3位は石川県(1.41)、島根県(1.22)、福井県(1.09)である。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は山形県(4.57)、北海道(4.50)、鳥取県(4.47)である。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は福井県(11.18)、新潟県(11.07)、宮崎県(10.86)である。水痘の定点当たり報告数は2週連続で増加した。都道府県別の上位3位は大分県(0.92)、沖縄県(0.74)、鹿児島県(0.69)である。手足口病の定点当たり報告数は第14週以降増加が続いている。都道府県別の上位3位は沖縄県(0.71)、滋賀県(0.31)、香川県(0.29)である。伝染性紅斑の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は秋田県(1.09)、鳥取県(1.00)、三重県(0.98)である。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は宮崎県(3.72)、山形県(3.07)、石川県(2.24)である。

マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は2週連続で増加した。都道府県別の上位3位は群馬県(1.63)、福岡県(1.40)、佐賀県(1.17)である。感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)の定点当たり報告数は2週連続で減少した。44都道府県から290例報告があり、年齢別では0歳(36例)、1～4歳(182例)、5～9歳(56例)、10代(7例)、30代(2例)、60代(1例)、70歳以上(6例)であった。

<関東情報>

流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は、埼玉県(0.99)、千葉県(0.97)からの報告が多い。

流行性耳下腺炎



平成28年 17週

		全国	関東地域	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県
インフルエンザ #1	報告数	12,362	2,210	220	146	195	353	328	567	401
	定点当たり	2.51	1.48	1.83	1.92	2.05	1.42	1.53	1.40	1.21
RSウイルス感染症	報告数	487	54	5	2	-	6	5	21	15
	定点当たり	0.15	0.06	0.07	0.04	-	0.04	0.04	0.08	0.07
咽頭結膜熱	報告数	1,265	309	15	11	10	41	55	117	60
	定点当たり	0.40	0.33	0.20	0.23	0.17	0.26	0.41	0.46	0.29
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	7,574	2,426	155	93	160	463	369	715	471
	定点当たり	2.41	2.60	2.07	1.94	2.76	2.95	2.75	2.81	2.26
感染性胃腸炎	報告数	18,803	4,799	401	120	338	870	622	1,389	1,059
	定点当たり	5.98	5.14	5.35	2.50	5.83	5.54	4.64	5.47	5.09
水痘	報告数	1,121	352	32	12	17	70	54	87	80
	定点当たり	0.36	0.38	0.43	0.25	0.29	0.45	0.40	0.34	0.38
手足口病	報告数	176	37	5	1	1	9	3	11	7
	定点当たり	0.06	0.04	0.07	0.02	0.02	0.06	0.02	0.04	0.03
伝染性紅斑	報告数	1,069	226	19	22	29	38	42	52	24
	定点当たり	0.34	0.24	0.25	0.46	0.50	0.24	0.31	0.20	0.12
突発性発しん	報告数	1,738	571	34	28	29	108	69	158	145
	定点当たり	0.55	0.61	0.45	0.58	0.50	0.69	0.51	0.62	0.70
百日咳	報告数	55	9	-	-	1	3	2	1	2
	定点当たり	0.02	0.01	-	-	0.02	0.02	0.01	0.00	0.01
ヘルパンギーナ	報告数	167	30	3	-	5	7	4	5	6
	定点当たり	0.05	0.03	0.04	-	0.09	0.04	0.03	0.02	0.03
流行性耳下腺炎	報告数	2,516	662	67	29	28	156	130	116	136
	定点当たり	0.80	0.71	0.89	0.60	0.48	0.99	0.97	0.46	0.65
急性出血性結膜炎	報告数	13	5	-	-	-	1	-	-	4
	定点当たり	0.02	0.02	-	-	-	0.03	-	-	0.09
流行性角結膜炎	報告数	471	203	17	10	26	18	22	21	89
	定点当たり	0.68	1.00	1.00	0.83	1.86	0.45	0.63	0.55	1.89
細菌性髄膜炎 #2	報告数	8	2	-	-	1	1	-	-	-
	定点当たり	0.02	0.02	-	-	0.13	0.10	-	-	-
無菌性髄膜炎	報告数	14	2	-	-	-	-	1	1	-
	定点当たり	0.03	0.02	-	-	-	-	0.11	0.04	-
マイコプラズマ肺炎	報告数	224	39	5	1	13	1	4	10	5
	定点当たり	0.47	0.48	0.38	0.14	1.63	0.10	0.44	0.40	0.56
クラミジア肺炎 #3	報告数	5	2	-	-	-	1	-	1	-
	定点当たり	0.01	0.02	-	-	-	0.10	-	0.04	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数	290	28	2	1	6	3	4	9	3
	定点当たり	0.61	0.35	0.15	0.14	0.75	0.30	0.44	0.36	0.33

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

(-0.00)

全国・関東情報 第 18週

(5月2日～5月8日)

平成28年5月25日

インフルエンザの定点当たり報告数は第7週以降減少が続いている。都道府県別の上位3位は秋田県(8.48)、岩手県(6.61)、沖縄県(4.76)である。基幹定点からのインフルエンザ入院サーベイランスにおける報告数は64例と前週と比較して減少した。都道府県別では26都道府県から報告があり、年齢別では0歳(6例)、1～9歳(19例)、10代(6例)、30代(3例)、40代(3例)、50代(4例)、60代(1例)、70代(6例)、80歳以上(16例)であった。

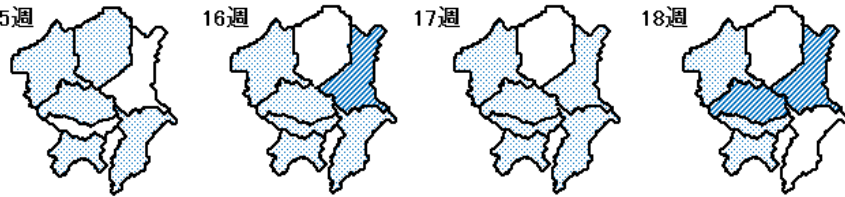
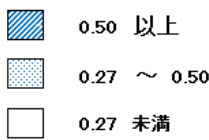
RSウイルス感染症の報告数は349例と3週連続で減少した。年齢別では1歳以下の報告数が全体の約85%を占めている。咽頭結膜熱の定点当たり報告数は第13週以降増加が続いている。都道府県別の上位3位は島根県(1.87)、佐賀県(1.13)、鹿児島県(1.00)である。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別の上位3位は鳥取県(3.32)、山形県(2.87)、北海道(2.57)である。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別の上位3位は宮崎県(8.67)、大分県(8.11)、新潟県(7.34)である。水痘の定点当たり報告数は3週連続で増加した。都道府県別の上位3位は福島県(0.80)、岩手県(0.65)、鹿児島県(0.64)である。手足口病の定点当たり報告数は第14週以降増加が続いている。都道府県別の上位3位は沖縄県(1.00)、大分県(0.25)、香川県(0.21)である。伝染性紅斑の定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別の上位2位は三重県(0.76)、秋田県(0.74)である。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は減少したが、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は宮崎県(3.28)、佐賀県(1.91)、山形県(1.73)である。

マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位2位は沖縄県(2.00)、静岡県(1.20)、鳥取県(1.20)である。感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)の定点当たり報告数は3週連続で減少した。43都道府県から228例報告があり、年齢別では0歳(25例)、1～4歳(148例)、5～9歳(44例)、10代(6例)、20代(1例)、50代(1例)、60代(1例)、70歳以上(2例)であった。

<関東情報>

水痘の定点当たり報告数は、茨城県(0.61)、埼玉県(0.51)からの報告が多い。

水痘



平成28年 18週

		全国	関東地域	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県
インフルエンザ #1	報告数	6,108	829	133	66	92	107	124	176	131
	定点当たり	1.24	0.55	1.11	0.87	0.98	0.43	0.58	0.43	0.39
RSウイルス感染症	報告数	349	23	4	-	-	6	4	7	2
	定点当たり	0.11	0.02	0.05	-	-	0.04	0.03	0.03	0.01
咽頭結膜熱	報告数	1,277	275	13	5	15	52	51	98	41
	定点当たり	0.41	0.29	0.17	0.10	0.26	0.33	0.38	0.38	0.19
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	5,205	1,739	129	85	91	347	295	532	260
	定点当たり	1.65	1.84	1.72	1.77	1.57	2.22	2.20	2.06	1.21
感染性胃腸炎	報告数	13,749	3,703	342	73	313	691	517	1,057	710
	定点当たり	4.37	3.93	4.56	1.52	5.40	4.43	3.86	4.10	3.32
水痘	報告数	1,206	375	46	12	17	80	35	86	99
	定点当たり	0.38	0.40	0.61	0.25	0.29	0.51	0.26	0.33	0.46
手足口病	報告数	184	39	6	2	-	6	3	14	8
	定点当たり	0.06	0.04	0.08	0.04	-	0.04	0.02	0.05	0.04
伝染性紅斑	報告数	898	220	15	35	35	35	36	44	20
	定点当たり	0.29	0.23	0.20	0.73	0.60	0.22	0.27	0.17	0.09
突発性発しん	報告数	1,390	464	23	24	30	77	75	139	96
	定点当たり	0.44	0.49	0.31	0.50	0.52	0.49	0.56	0.54	0.45
百日咳	報告数	35	7	-	-	-	3	1	-	2
	定点当たり	0.01	0.01	-	-	-	0.01	0.01	-	0.01
ヘルパンギーナ	報告数	174	32	4	1	-	3	5	11	8
	定点当たり	0.06	0.03	0.05	0.02	-	0.02	0.04	0.04	0.04
流行性耳下腺炎	報告数	2,407	603	62	18	25	147	110	107	134
	定点当たり	0.76	0.64	0.83	0.38	0.43	0.94	0.82	0.41	0.63
急性出血性結膜炎	報告数	14	6	-	1	-	3	1	-	1
	定点当たり	0.02	0.03	-	0.08	-	0.07	0.03	-	0.02
流行性角結膜炎	報告数	405	161	4	11	12	11	24	15	84
	定点当たり	0.59	0.78	0.24	0.92	0.86	0.27	0.71	0.39	1.65
細菌性髄膜炎 #2	報告数	12	4	-	1	-	-	1	2	-
	定点当たり	0.03	0.05	-	0.14	-	-	0.11	0.08	-
無菌性髄膜炎	報告数	17	2	-	1	-	1	-	-	-
	定点当たり	0.04	0.02	-	0.14	-	0.10	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	報告数	204	14	6	-	3	-	2	3	-
	定点当たり	0.43	0.17	0.46	-	0.38	-	0.22	0.12	-
クラミジア肺炎 #3	報告数	4	-	-	-	-	-	-	-	-
	定点当たり	0.01	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数	228	13	-	2	4	1	1	2	3
	定点当たり	0.48	0.16	-	0.29	0.50	0.10	0.11	0.08	0.27

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

(-0.00)

インフルエンザウイルス検出状況について

平成28年4月1日から埼玉県病原体サーベイランス実施要領が新たに施行されました。今回は、県及び中核市（川越市及び越谷市）の15保健所管内において新たな基準により採取され、埼玉県衛生研究所で実施した季節性インフルエンザの検査結果について報告します。

4月1日から5月8日までにインフルエンザ指定提出機関23カ所のうち11保健所管内の16カ所から84検体が採取され、79検体からAH1pdm09が15件、AH3が4件、B型が60件（ビクトリア系統17件、山形系統41件、系統不明2件）検出されました。なお、インフルエンザ不検出の1検体からアデノウイルスが検出されました。保健所別の検出数は川口34件、次いで加須9件、狭山7件、幸手及び越谷市各6件、川越市5件、東松山4件、秩父及び草加各3件、鴻巣及び本庄各1件でした（表1）。AH1pdm09は県南部及び県東部の6保健所管内、AH3は川口保健所管内のみ、B型のビクトリア系統及び山形系統は、それぞれ9保健所管内から検出されました（図1）。

表1 保健所別検体の搬入状況及び病原体遺伝子の検出状況(4/1～5/8検体採取)

保健所	検体数	検出数	型別検出数				
			AH1pdm	AH3	Bvic	Byam	B系統不明
川口	37	34	4	4	4	21	1
朝霞	0	-	-	-	-	-	-
鴻巣	2	1	1	0	0	0	0
東松山	5	4	0	0	1	3	0
秩父	3	3	0	0	2	1	0
本庄	1	1	0	0	0	1	0
熊谷	0	-	-	-	-	-	-
加須	9	9	3	0	4	2	0
春日部	0	-	-	-	-	-	-
幸手	6	6	3	0	1	2	0
坂戸	0	-	-	-	-	-	-
草加	3	3	1	0	2	0	0
狭山	7	7	0	0	1	5	1
川越市	5	5	0	0	1	4	0
越谷市	6	6	3	0	1	2	0
総計	84	79	15	4	17	41	2

検出数の-は、検体搬入無

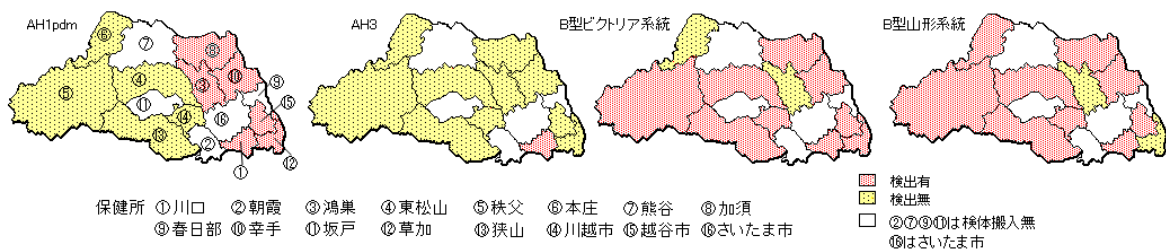
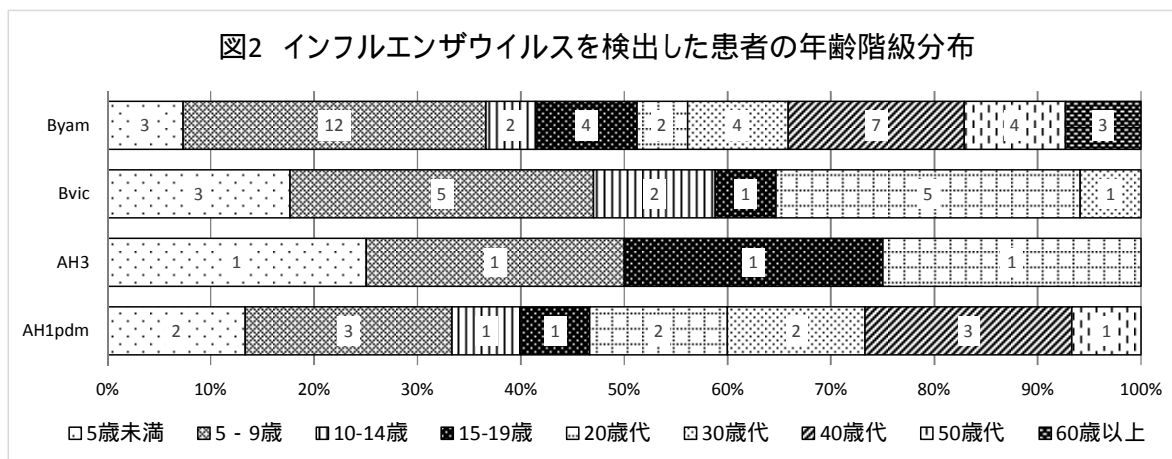


図1 保健所別インフルエンザウイルスの検出状況

インフルエンザを検出した患者の性別は男性 40 人、女性 39 人で、年齢階級は、AH1pdm09 では 60 歳以上を除く階級に分布し、AH3 は 5 歳未満、5-9 歳、15-19 歳及び 20 歳代が各 1 人でした。また、B 型では山形系統は全ての年齢階級に分布していましたが、ビクトリア系統は 40 歳以上からの検出はありませんでした（図 2）。



患者の発熱は 74 人に認められ、5 人は発熱の有無が不明でした。発熱温度が確認できた 71 人の発熱は 37.4 ~ 40.1 （中央値 38.5 ）に分布していました。インフルエンザワクチンの接種歴は、接種有りが 16 人、接種無しが 45 人、不明が 18 人でした。

新たな基準のもと 4 月以降 84 検体の搬入により型別の地域分布や年齢分布を把握することができました。なお、感染症発生動向調査においてインフルエンザの定点当たり報告数が第 18 週(5 月 2 日～8 日)に 0.43 となり 1.00 を下回りましたので、今後は検体提出機関当たりの採取数は各月 1 検体となります(表 2)。病原体定点医療機関の先生方には、引き続き検体採取への協力をお願いします。

表 2 埼玉県病原体サーベイランス実施要領に基づく季節性インフルエンザの検体採取

検体提出機関	採取期間	採取数
インフルエンザ 指定提出機関	流行期（定点当たり報告数が県全体で 1 を超えた週から 1 を下回る週まで） 非流行期（流行期以外）	各週 1 検体 各月 1 検体

・要領施行前の 2015 年 9 月～2016 年 3 月の県内のインフルエンザの検出状況は、以下の URL でご覧になれます。

<http://www.pref.saitama.lg.jp/b0714/surveillance/documents/siasr-topix-201603.pdf>

・インフルエンザに関する最新の全国情報は、国立感染症研究所感染症疫学センターのホームページ (<http://www.nih.go.jp/niid/ja/iasr-inf.html>) でご覧になれます。

総合トップ > 健康・福祉 > 感染症 > 感染症情報センター > 感染症の流行情報 > 感染症発生動向調査 > 感染症発生動向調査 2016年 > 感染症の流行状況 2016年 第20週

MYナビ 彩の国

感染症発生動向調査 2016年

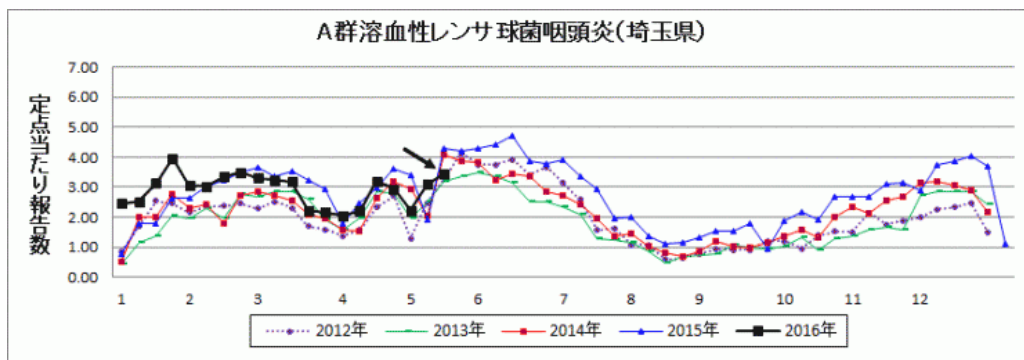
- [感染症の流行状況 2016年 第1週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第2週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第3週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第4週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第5週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第6週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第7週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第8週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第9週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第10週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第11週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第12週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第13週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第14週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第15週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第16週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第17週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第18週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第19週](#)

感染症の流行状況 2016年 第20週

2016年第20週（平成28年5月16日～5月22日）の要点 平成28年5月25日

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は、前週より増加しました。外出後の手洗い・うがいとともに、十分な休養をとるよう心がけてください。また、お子さんの体調がすぐれない時は、医療機関に電話で相談の上、早目に受診してください。

- [インフルエンザに関する情報はこちらをご覧ください。](#)
- [麻疹に関する情報はこちらをご覧ください。](#)
- [風しんに関する情報はこちらをご覧ください。](#)



感染症流行状況

疾患	推移	流行状況	疾患	推移	流行状況
インフルエンザ	→	★	伝染性紅斑	→	★
RSウイルス感染症	→	★	突発性発しん	→	★
咽頭結膜熱	→	★★	百日咳	→	★
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	↑	★★★	ヘルパンギーナ	↑	★
感染性胃腸炎	→	★★	流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	→	★★
水痘（みずぼうそう）	→	★	急性出血性結膜炎	→	★
手足口病	→	★	流行性角結膜炎	→	★★

*1.推移、流行状況は、県内全域の傾向です。 *2.推移は2週間前からの傾向を示します。(→:増減無し、↑:増加、↓:減少) *3.流行状況は今週の流行を示します。(小さい←★、★★、★★★→大きい)

疾患名をクリックすると、各疾患の流行状況のグラフがご覧いただけます。

全国の感染症発生動向状況については、国立感染症研究所のホームページ「[感染症疫学センター](http://www.nih.go.jp/niid/ja/from-idsc.html)」(アドレス <http://www.nih.go.jp/niid/ja/from-idsc.html>)でご覧になれます。

この情報は毎週水曜日に更新する予定です。ただし、祝日等により変更の場合もあります。



埼玉県のマスコット コバトン